平成　25　年度実施

新規事務事業マネジメントシート

作成日：平成　25　年　7　月　30　日

事務事業名	塩谷町結婚活動支援事業			☑ 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	豊かな人を育むまちづくり		所属課	生涯学習課	担　当	生涯学習担当
	施策名	生涯学習環境の充実		課長名	関　雄治	担当者名	森田裕仁
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等：社会教育法
事業期間	☐ 単年度のみ　☐ 単年度繰返　（開始年度　　年度）　☑ 期間限定（　25　年度～　29　年度）						

事務事業の概要（事務事業の内容を記載）

1　事務事業概要

次世代担う独身男女のふれあい交流事業を企画・運営し、新たな出会いやカップル誕生に努め人口減少に歯止めを掛け、青年層による活発な地域交流と子どもの姿が見える町づくりを図る。

本事業の企画立案等については、企画調整課、産業振興課、保健福祉課と連携し実施する。

募集にあたっては、新聞、広報しおや、ラジオのほか、JAしおのや、田所工業団地等にも声をかけ参加者を呼びかける。

なお、開催場所、時期は、星ふる学校くまの木で12月を予定してる。

2　概算事業費

イベント開催費50万円(詳細は今後協議する)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動の計画（活動の量・大きさ・規模等）

結婚したい若者に出会いの場を提供する

② 対象（事業は誰・何を対象にしているのかを記載）

結婚したい若者(男性町内25歳以上、町内外女性23歳以上)

③ 目標（この事業によって、対象をどうしたいのか記載）

結婚に結びつけたい

町の人口減に少しでも歯止めを掛けたい

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位
ア	年間の結婚活動支援回数	回
イ		

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位
ア	男性参加者数	人
イ	女性参加者数	人

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位
ア	カップル誕生数	組
イ		

(2) 指標・総事業費の推移

			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	回	1	1	1	1	1	
		実績値	回						
	イ	目標値	0						
		実績値	0						
対象指標	ア	目標値	人	20	20	20	20	20	
		実績値	人						
	イ	目標値	人	20	20	20	20	20	
		実績値	人						
成果指標	ア	目標値	組	2	2	2	2	2	
		実績値	組						
	イ	目標値	0						
		実績値	0						

計画				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	500	500	500	500	500	
		事業費計（A）		千円	500	500	500	500	500	0
	人件費	正規職員従事人数		人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間		時間						
		人件費計（B）		千円	0	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)			千円	500	500	500	500	500	0

実績				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円					
		事業費計（A）		千円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数		人					
		延べ業務時間		時間					
		人件費計（B）		千円	0	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	0	0	0	0

	評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価	① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	異性との出会いの無い若者に出会いの場を提供し、結婚してもらいたい。 塩谷町から若者の転出や、少子化に少しでも歯止めを掛けたい。	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
有効性評価	② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	現在、塩谷町には結婚適齢期の男性、女性が大勢おり、町民から結婚活動支援を町で実施して欲しいとの要望があり、先延ばしできない。。	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
効率性評価	③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	本事業は魅力・特色ある事業でないと参加者が集まらないので、参加費を安く考えている。 事業費を町の負担でも、当町のカップルが誕生すれば良いと考えている。	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
公平性評価	④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	参加者負担では人が集まらないので、町負担が多くなっても仕方が無いと判断している。 なお、参加者からも若干の参加費は考えている	☑ 適切 ☐ 見直し余地あり		☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

3 事前評価結果　　事前評価日：　平成　25 年　8 月　1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性

☑ 1次案のまま採択　☐ 下記条件で採択　☐ 不採択　☐ 差し戻し

(2)採択条件	(3)指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)
	・対象者、募集方法を十分に検討し、参加者を多く集めることに主眼を置くこと。 ・スマートフォン等を利用したPR(ツイッター、フェイスブックなど)をする場合は、安全性を確保すること。(誹謗、悪意のある書込みに注意する) ・町内の女性にも配慮した参加しやすい内容にすること。

4 成果検証　　事後(中間)評価日：　平成　26 年　3 月　日

事務事業実施後の概要 （実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載）	

(1) 評価結果（今後の方向性）

☐ 優(成果大)　☐ 良(良好)　☐ 可　☐ 不可(成果なし・中止・計画変更必要)

(2) 総評	(3) 指示事項
	☐ 再評価対象事業